

旧佐世保市立保立小学校沿革史概要

大正8年4月1日	元・八幡女児尋常小学校校舎を仮校舎として開校。
大正9年9月24日	保立町に新校舎が完成。
大正11年4月	高等科を併置の上保立尋常高等小学校となる。
大正12年11月5日	高等科を廃止の上保立尋常小学校に名称を戻す。
昭和9年10月8日	校歌を制定。
昭和16年4月1日	国民学校令により、保立国民学校となる。尋常科を初等科と改称。
昭和20年6月29日	佐世保空襲により、校舎が全焼。以後分散授業を余儀なくされる。
10月1日	八幡国民学校とともに、焼失を免れた大久保国民学校に移転。一度に授業は行えないため、時間をずらして二部授業が行われる。
昭和21年2月28日	学校給食を開始。
昭和22年4月1日	学制改革（六・三制の実施）により、旧・保立国民学校初等科を改組し、佐世保市立保立小学校が発足。
昭和27年2月	図書館が完成。
昭和33年3月	改築により鉄筋コンクリート造3階建て校舎（第一期工事）が完成。
昭和34年3月16日	校舎第二期工事が完成。
昭和35年3月	校舎第三期工事が完成。
平成16年3月31日	85年の歴史に幕をおろし、閉校。八幡小学校校地に清水小学校の新校舎が完成するまで、仮校舎として使用される。
平成18年12月	八幡小学校校地に新校舎が完成し、移転完了。移転後、保立小学校校舎は解体され、佐世保市総合教育センターが建設される。
平成22年10月	旧・保立小学校校地に佐世保市総合教育センターが完成・開館